

尾崎先生と

大室古墳群の実測録

～どのように古墳調査が行われていたかの記録～

尾崎先生ってどんな人？

尾崎喜左雄先生は戦後群馬県の古墳研究をけん引した人物です。先生が発掘した古墳は昭和23年から300基以上。昭和24年には群馬大学教授に就任されました。

地元の人に自ら古墳について説明するなど地元の人との交流を大切にし、研究室を訪れる者はだれでも歓迎するなど広い人脈があった方だったそうです。

また、その広い人脈から新しい古墳の情報収集や保護に取り組んでいたそうです。

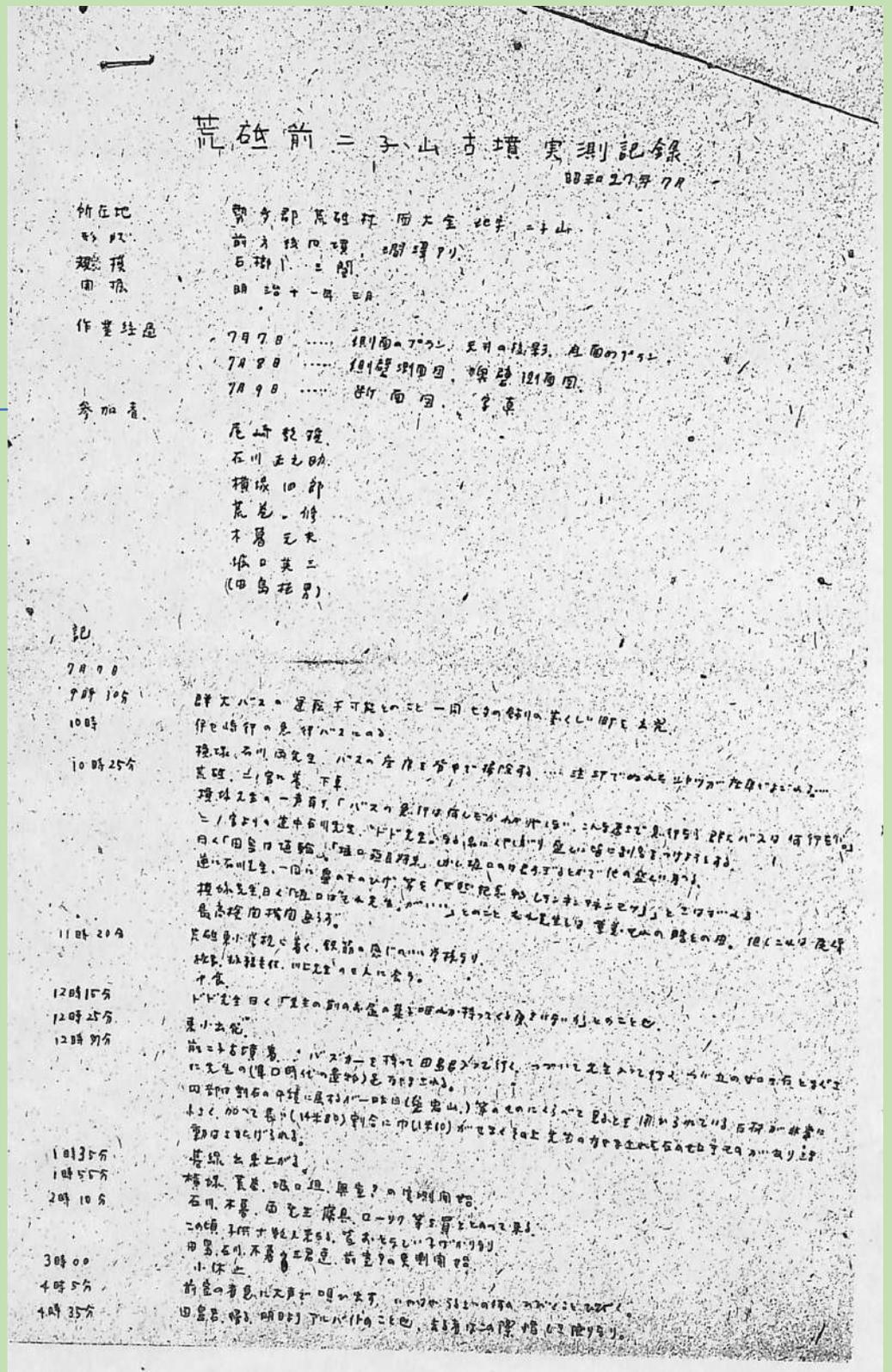


安楽寺古墳での尾崎先生の写真
(調査時期：昭和40年
5月22日・23日)

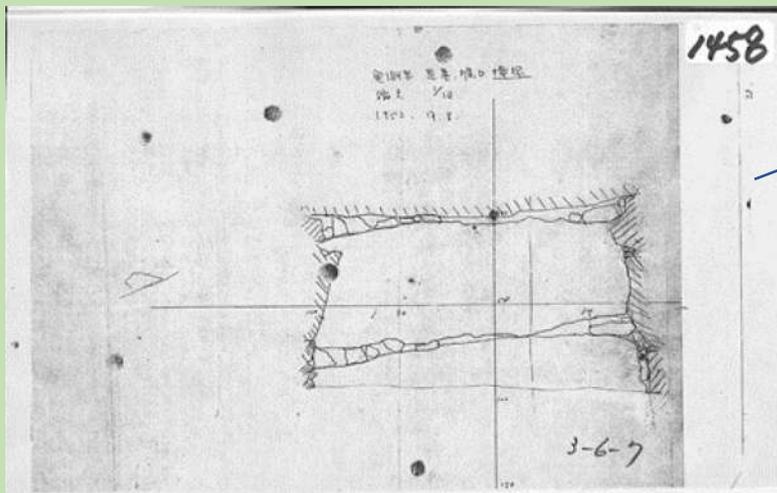
尾崎先生は大室古墳群で前二子古墳の実測に携われました！

前二子古墳実測
記録
昭和27年7月

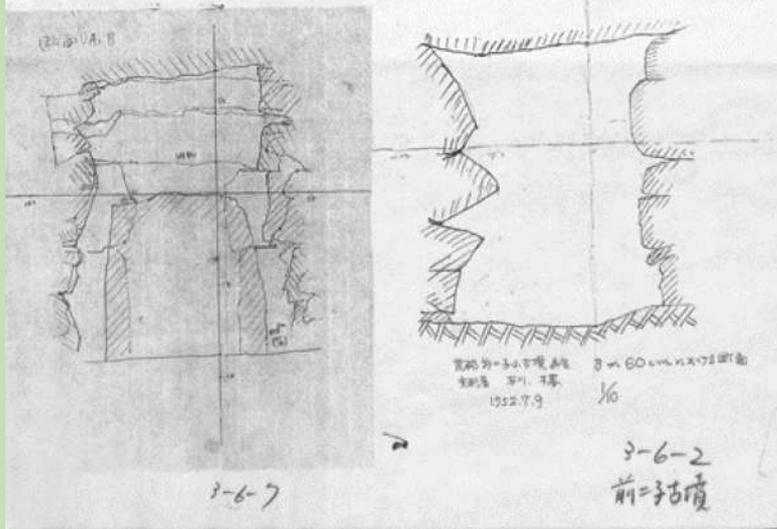
「七夕の飾りの美しい町を出発」
「前室の者急に大声で唄ひ出す」など楽しく発掘作業を行っていたことがうかがえる。また、多くの人の名前が記録されており、たくさんの人の協力やかかわりがこの古墳の実測にあることがわかります。



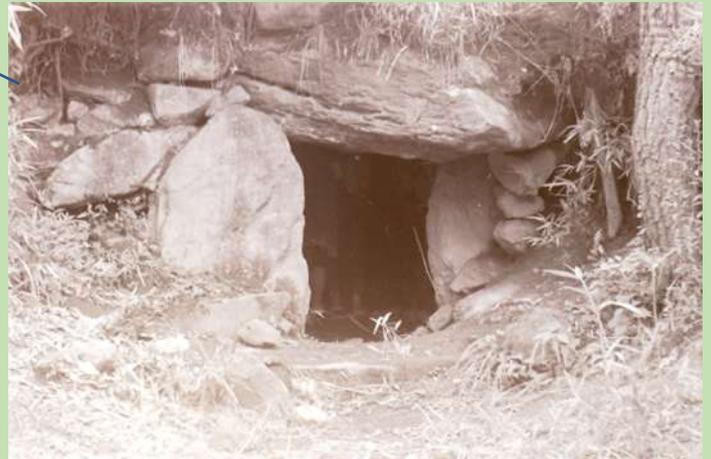
大室古墳群での実測様子写真



前二子古墳の実測図



前二子古墳の写真



大室古墳群の出土品

